

令和元年度

ひと ひと
女と男の

いきいきフォーラム

記録集



目 次

◇ はじめに	1
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム 開催概要	2
◇ 当日の様子	3
◇ 住田 裕子さんの講演について	4
◇ 【同時開催】パープルリボン展	8
◇ チラシ「 ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム」	10
◇ チラシ「パープルリボン作品募集」	11
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム アンケート	12
◇ 男女意識チェック アンケート	18
◇ 男女共同参画に係るキーワード	22
◇ 実行委員の思い	24
◇ 実行委員会 年間の流れ	27
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム実行委員紹介	28



はじめに

男女共同参画社会基本法が1999年に制定・施行されてから20年以上が経過しました。基本法は、改めていうまでもなく、前文で「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」を「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付け」た法律です。基本法に基づいて策定される「男女共同参画基本計画」もその第3次計画が、男女共同参画会議の答申とパブリック・コメントを経て2010年12月閣議決定されました。

「男女共同参画」という言葉は、この20年の間に社会に浸透してきました。それは、基本法に基づく政府機関やその取組みだけではなく、全国の都道府県・市町村に男女共同参画に関する条例をつくり、各地域を拠点に男女共同参画を促進する積極的な取組みも展開してきた職員、地域の女性団体やグループ、諸個人の成果によるものであります。

「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」は第2次向日市男女共同参画プランの策定（2011年度～2020年度の10年間）に基づき、人権尊重、男女共同参画社会の実現を目指し、市民公募により集まった実行員と市の協働により企画・運営を行っております。

私たち「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」実行委員は、一日も早い男女共同参画社会の実現を心から願って活動を続けております。

「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」実行委員会



令和元年度 ^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム 開催概要

- 1 日時 令和元年12月7日(土) 午後1時～2時40分
- 2 場所 イオンモール京都桂川 3階イオンホール
- 3 内容 講演 ^{ひと}女男の生き方を考える～あしたの自律のために～
講師 住田裕子さん

同時開催 パープルリボン展、人権パネル展

- 4 参加者 228名

アンケート回収数169枚(回収率74.1%)

(アンケートの詳細は、14～17ページをご覧ください)



当日の様子

たくさんのお客様が参加してくださいました！



今年もたくさんのパープルリボン（女性に対する暴力をなくすためのシンボル）作品を展示しました。



りんちゃんもパープルリボンを付けて参加♪

司会も実行委員が担当します。



受付・司会だけでなく、準備、会場整理、写真撮影、講師の接待、記録集編集、総括といきいきフォーラム実行委員は、見えないところからもフォーラムを支えています。

住田 裕子さんの講演について

演題 「女男(ひと)の生き方を考える～あしたの自律のために～」

講師 住田 裕子さん (弁護士)



戦後、平和になった日本では、ベビーブームにわきました。人口ボーナスの中、高度経済成長が進み、日本は世界第2位の経済大国となりました。このとき、男性が働き、女性が家庭を守るという仕組みがうまく働き、男女の性別による役割分担の意識については、今も国民の約半数が抱くくらい根強く、世界では異例です。

ところが、今や人口減少社会。男女老若を問わず、ひとり一人が社会で活躍することが期待されるのに、このような意識からか、少年犯罪や少子化の原因は女性が働くからだ、との誤解が浸透しており、まだまだ仕事と家庭の両立は

つらい。女性の活躍度は先進国でも最低です。また、男らしさは強いこと、とばかりに、コミュニケーション能力の低い男性は、気に入らないことがあると、妻に八つ当たりのDVになることも。「女のくせに」とか「年寄りのくせに」などの偏見もなくなりません。変わらなくては！

今後、人工知能（A I）が社会のいたるところに行き渡る社会になるでしょう。そこで大事なことは？ より使いやすいものがほしい、これまでにない新しいものを求めたいなどの欲求から生まれる創造性は人間ならでは。

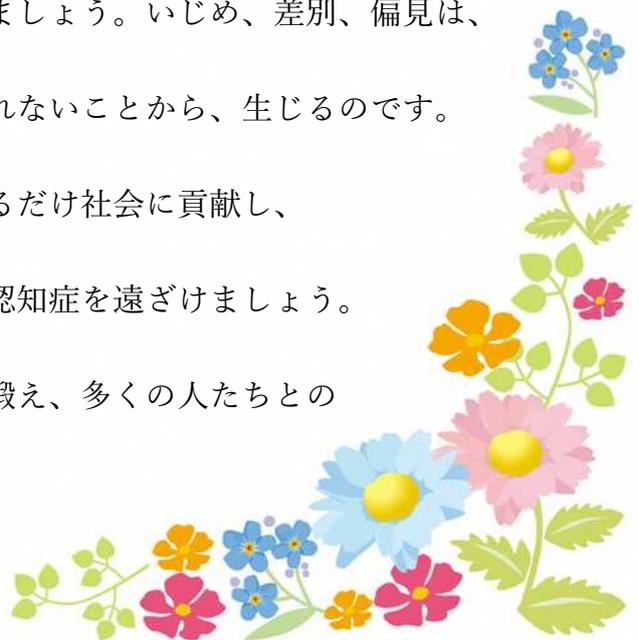
人工知能には膨大な情報や論理性はあっても、感性・徳性は備わっていないのです。

これからの社会に生きていくためには、感性あふれる人間らしさ、仲間をつくることのできる、人の痛みを感じられる「共感性」や「協調性」が重要です。

その前提として、「自律性」「自己肯定感」をしっかりと持つこと。残念ながら、日本の若者は自己肯定感が外国の若者に比べると極めて低い。私たち大人は、長所を見つけたら、ほめ、育ててあげましょう。いじめ、差別、偏見は、自信がないため、人の気持ちを思いやれないことから、生じるのです。

世界一の長寿国。年を取ってもできるだけ社会に貢献し、自律するように、健康寿命を延ばし、認知症を遠ざけましょう。

そのためには、日々、心身を動かし鍛え、多くの人たちとの交流を深めていきましょう。



【講演の感想】

参加者のアンケートからも、学びや気づきが多く、それぞれにより良い未来のためにできることを考える機会となったことが伺えました。記入された感想の中から、抜粋してご紹介します。
(講演会に関する意見、感想欄への記載内容を原文のまま掲載しています。)

性別	年代	感想
女性	30代	まず、先生の年齢にびっくりしました。68歳!!やっぱりやりたいこと・やるべきこと・やりがいを持っている方は元気で美しい。美容の仕事をしていますが、楽しく生きているお客様は結果の出方が違います。どんな年齢の方でも。そして着ている服も明るい。男女の偏見もですが、日本にはたくさんの偏見があると思います。年寄りがそんな服を着て・・・とか。元気で健康な80代以上の方が増えるように。〇〇のくせにという言葉が減りますように！
女性	40代	テレビでよくお見かけする方に会えて、すばらしいお話をきくことができよかった。ガチガチの専門的なLGBTなどのお話ではなくて、ずっと身につくと感じました。
女性	40代	私達は第2次ベビーブームの中、生きてきました。今、私の子供たちは少子化の中で生きています。人口が多い中生きていましたが、その自分のまわりが多かったけど生きにくいとは思いませんでした。今の子供たちの方が生きにくいと思いました。私も3人の男の子を育てていますが「ほめてあげる!!」を意識したいと思いました。絶対的安心感を与えられるようにしたいと思いました。
女性	40代	コミュニケーションの取り方。文字ではなく言葉の温度をしっかりとつけて相手に届けること。 自分の存在を自分で認識する→これは自分を愛し、大切に、厳しく接してくれる周りの人達に感謝できる心を育むことが大切。 できないこと→できない自分を認める。かくすのではなく、これから勉強するという気持ちになる。 年を重ねれば重ねるほど、これらのことに「わかっているつもりになる」 最も身近なこと、ふれあいの原点を考え直すことが改めてできました。ありがとうございました。
女性	50代	「自己肯定感の低さ」子供たちを見ていて実感はしてましたが、かなり低く残念。家族、地域全体で見守っていきたい。 今後の人生、不安な事だらけですが、健康寿命を延ばせるように、引きこもらず過ごしていきたい。 住田先生、素敵な講演ありがとうございました。
女性	50代	子供に大好きと言ってやる。勉強ができる事をほめない。人とのふれあい、SNSのこわさ、人と話す事の大切さがわかった。老後の3つのきんもなるほどと思った。
女性	50代	住田先生のお話はとてもわかりやすく、語りかける様なお話が直接受け止められました。ご自身の事も入れながら話されているのがとても良かったです。ひととして大切な事は何か… 考える機会ができました。
女性	60代	人と人とは感性が大事。コミュニケーションが大事。ボールをラリーすること。フェイス to フェイスが大事。SNSでは伝わらない。文字だけでは伝わらない。住田先生のわかりやすいお話であつという間の時間でした。孫がいらっしゃるおばあちゃんのステキなお顔も垣間見えてとてもよかったです。自分自身も孫に対して心がけたいと思います。テレビでの活躍も楽しみにしています。ありがとうございました。3つのキン、しっかり心に留めます。
女性	60代	人との接し方の大事なことを教えていただきました。人との感じ方のちがいや不安に感じることもありましたが、人の気持ちをよみとり、自分の肯定力をつけていこうと思いました。

性別	年代	感想
女性	60代	納得することばかりでした。相手を思いやる気持ちがDVや犯罪対策に必要なこと、AIにはそれが無いこと、次々とながらついていくお話に聞き入りました。3つの「きん」のお話は、これから色々な友人に話したいと思いました。
女性	60代	テレビでは辛口コメントですが、わかりやすい講演でした。特に人と人とのコミュニケーションが大切だと痛感しました。“3つのきん”は、毎日守りたいと思います。
女性	60代	今まで何となく感じてきた生き方や働き方や男女差について、納得のいくお話です。一と心の中に落ちた感じがしました。同時に、時代遅れと思っていた部分についてもこれでよいのだと肯定できるものもあり、心強く思いました。心の在りよう、感性をやはり最上級にしたいと改めて思いました。
女性	60代	もっと男性の参加があれば良かったと思います。先生の話聞かせたい。若い方の参加ももっとあれば良かったと思います。
男性	60代	TVでの印象と違って、とても共感できる話が多かった。若者が自己肯定感を持てる社会にしていくことが、私たちの世代の課題だと思う。
男性	60代	住田講師の講演内容もさることながら、住田講師の考え方・生き方に感銘しました。
女性	70代	夫婦で参加した。具体的な生活の様子を聞き、理論だけでなく、男性も生活のしかたを身近に考える貴重な機会となりました。大変楽しく、中身の濃い話でした。ありがとうございました。
女性	70代	むずかしい言葉は使わず、親しみやすかった。わかりやすかったです。
女性	70代	自己肯定感 共感性を育てることの大事さが、自分の子供や若い人達とつき合っていてよくわかりました。
女性	70代	今回の参加は年配の方が多かったと思う。もっと子育て中の若い方も沢山参加してほしい。
女性	70代	子育てについて、共感性を育てる、気持ちが伝わる、文字では感情が伝わらない、自分の思いを言葉にできる事 改めて思い返し、自分の今後の参考にして行きたい。
女性	70代	人としての暖かさ、想像力、人によりそう優しさが大切なんだとあらためて感じた。感性を伝える、気持ちを伝える、じかに会う、共感性をやりとりすることの大事さ！教えていただきました。ありがとうございました。
女性	70代	楽しく聞かせていただきました。老後の生き方の参考にさせていただきます。内容は充実してよかったです。
男性	70代	日本の若者の自己肯定感の低さに驚いたが、住田先生のお話でなんとなく理解できた(小さい頃からの愛情が大事)。ほめること、3つの「キン」もおもしろかった。住田先生の人柄がよくわかる楽しい講演会でした。
女性	80代	毎年この催しに参加させていただき多方面よりの考え方を学習させていただき感謝しています。人生100年時代と言われる昨今、老人といえども社会のお荷物にならないよう考えて生きていきたいと思いました。



パールリボン展



まつぼっくりのブローチ



ほっこりねこ



クッション



パッチワーク 手提げ袋



ミニ着物

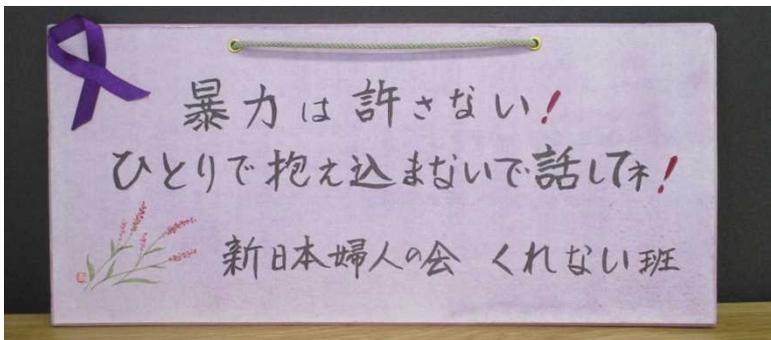




フラワー



パープルだるま 和洋折衷



絵てがみ

5回目となる今回のパープルリボン展に、多くの応募をいただき、
 ありがとうございました。
 向日市女性活躍センターあすもあや講演会開催時に展示し、多くの方が関心を
 寄せ、鑑賞されました。

令和元年度

ひと ひと

女と男のいきいきフォーラム

同時開催／パープルリボン展・人権パネル展



12月7日（土）

午後1時～午後2時40分

（午後0時30分開場）

手話通訳・要約筆記あり

定員200名（入場無料）

会場 イオンモール京都桂川

3階 イオンホール

※専用の駐車場はありません。施設内の駐車場をご利用の場合は、通常の料金がかかります。

講師 すみた ひろこ
住田 裕子さん（弁護士）

ひと ひと

女男の生き方を考える

～あしたの自律のために～

優先入場券

11月8日（金）から配布
お1人様2枚まで
午後0時50分まで優先的に
入場いただけます。

配布場所（向日市内）

広聴協働課（市役所本館2階）
東向日別館（3階案内係）
女性活躍センター、図書館
各コミセン、地区公民館

一時保育

満1歳～就学前、定員8人
11月22日（金）までに広聴
協働課へお申込みください。

問い合わせ・一時保育申込み

向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

電話 (075) 931-1111 FAX (075) 922-6587

電子メール kyodo@city.muko.lg.jp

主催 向日市、女と男のいきいきフォーラム実行委員会、山城人権ネットワーク推進協議会





～暴力がなくなっしてほしいという想いを込めて～

パープルリボン展

作品集
募集

パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」の国際的なシンボルマークです。
このパープルリボンをモチーフにした、女性に対する暴力がなくなっほしいという想いが込められた作品を募集し、「パープルリボン展」を開催します。

募集内容

パープルリボンをテーマにしたオリジナル作品～絵画、手芸、造形など～

- 1人で持ち運びができるサイズ・重さのもの ● 映像・食品不可
- 応募作品は、原則返却させていただきます。

◆ 展示日 11月16日(土)・17日(日)

「向日市まつり」開催時(向日町競輪場)

12月7日(土)「女と男のいきいきフォーラム」開催時

(イオンモール京都桂川3階 イオンホール)

上記の展示日のほかに女性活躍センターにて展示します。

◆ 募集期間 令和元年10月1日(火)～11月8日(金)

◆ 応募方法 作品と応募用紙を直接、女性活躍センターへ持参してください。
応募用紙は、市のホームページでもダウンロードできます。

◆ 注意事項 展示が困難と思われる場合、お断りすることがあります。また、作品が破損した場合、弁償はいたしかねます。

応募いただいた作品は、本市の男女共同参画事業に係る印刷物やホームページ等において掲載する場合があります。

作品には、
「暴力を許さない」
「あなたはひとりじゃないよ」
といった様々な想いが
込められています。



<写真提供>けいたま

<写真提供>
ボランティアサークル
「ひまわり」



<写真提供>
新日本婦人の会くれない班

申込み・問い合わせ先

向日市女性活躍センター あすもあ

電話 075-963-6532/FAX 075-963-6517

<応募用紙は裏面です>

ご回答いただいた方に、先着で粗品をプレゼントいたします！

令和元年度「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」アンケート

今後、本市の男女共同参画事業の参考にするため、アンケートにご協力をお願いします。
(※ 該当するものに○印または記入してください。複数回答可。)

差し支えなければお答えください。

- 性別 ()
- 年齢 (歳代)
- 住所 市内(物集女・寺戸・森本・鶏冠井・向日・上植野)・市外()

1 今回の「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」を何で知りましたか？

- ①広報むこう ②回覧板 ③公共施設でのポスター・チラシ
- ④新聞 ⑤知人から ⑥その他 ()

2 この催しに参加された動機は何ですか？

- ①講師または講演に興味があつて ②パープルリボン展示に興味があつて
- ③男女共同参画事業について関心があつて ④余暇の利用
- ⑤その他 ()

3 講演「^{ひと}女男の生き方を考える～あしたの自律のために～」

講師 住田 裕子さん についてお聞かせください。

(1) 内容はいかがでしたか。

- ①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

(2) 新しい発見はありましたか。

- ①あった ②まあまああった ③どちらともいえない ④あまりなかった

感想(講演のテーマや内容、講師等について)

裏面も記入をお願いします！

- 4 今回の「女と男のいきいきフォーラム（パープルリボン展や人権パネル展を含む全体）」
はいかがでしたか？
ご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

感想

()

- 5 今後、「女と男のいきいきフォーラム」についてどのような催しを期待しますか？
(具体的もしくは抽象的な内容・人名などでも結構です。)

①講演会 ()

②映画 ()

③その他 ()

- 6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

①今日がはじめて ②1～2回 ③3～4回 ④5回以上

- 7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

①深まった ②どちらかといえば深まった ③変わらない ④わからない

- 8 今後もこのようなイベントに参加したいと思えますか？

①はい ②いいえ ③わからない

- 9 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思えますか？

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う

③どちらかと言えばそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

- 10 その他、お気づきの点がございましたら記入してください。

()

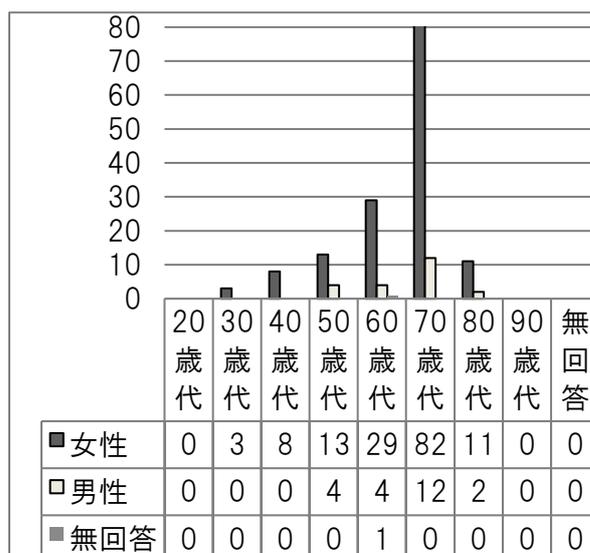
ご協力ありがとうございました。

女と男のいきいきフォーラム 当日アンケート集計結果

女と男のいきいきフォーラム参加者に対し、アンケートを行いました。
ご協力、ありがとうございました。

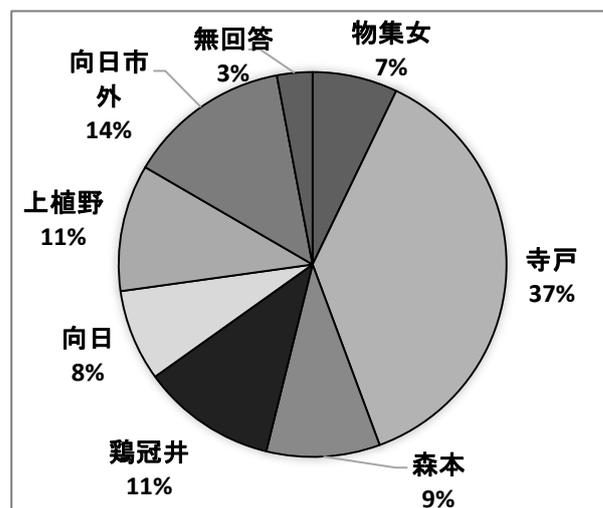
性別と年齢

	女性	男性	無回答	総計
20歳代	0	0	0	0
30歳代	3	0	0	3
40歳代	8	0	0	8
50歳代	13	4	0	17
60歳代	29	4	1	34
70歳代	82	12	0	94
80歳代	11	2	0	13
90歳代	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0
総計	146	22	1	169



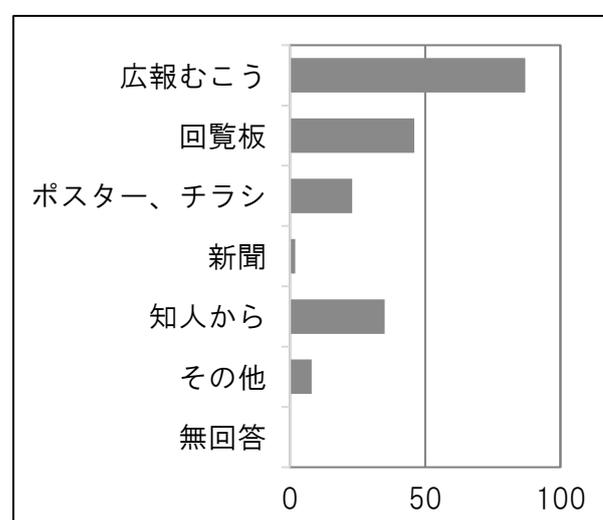
お住まい

	女性	男性	無回答	総計
物集女	11	1	0	12
寺戸	53	9	1	63
森本	15	1	0	16
鶏冠井	18	1	0	19
向日	11	2	0	13
上植野	15	3	0	18
向日市外	20	3	0	23
無回答	3	2	0	5
総計	146	22	1	169



1 今回の「女と男のいきいきフォーラム」を何で知りましたか？(複数回答可)

	女性	男性	無回答	総計
広報むこう	75	12	0	87
回覧板	40	6	0	46
ポスター、チラシ	21	1	1	23
新聞	1	1	0	2
知人から	30	5	0	35
その他	8	0	0	8
無回答	0	0	0	0
総計	175	25	1	201

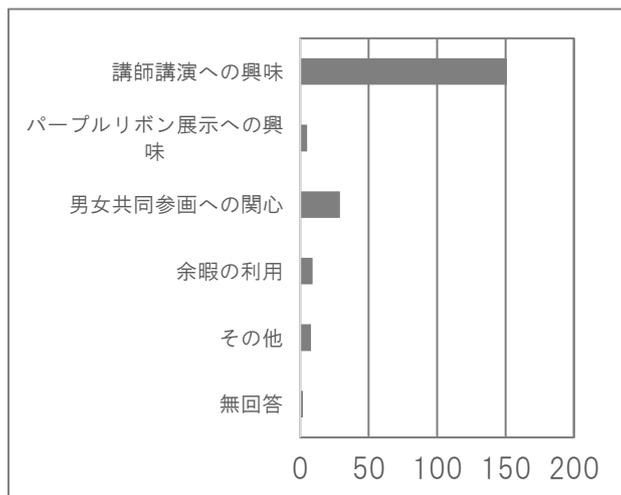


[その他]

市からの案内、公民館、向日市まつり、福祉会館

2 この催しに参加された動機は何ですか？(複数回答可)

	女性	男性	無回答	総計
講師講演への興味	133	18	0	151
パープルリボン展示への興味	5	0	0	5
男女共同参画への関心	26	2	1	29
余暇の利用	7	2	0	9
その他	7	1	0	8
無回答	1	1	0	2
総計	179	24	1	204



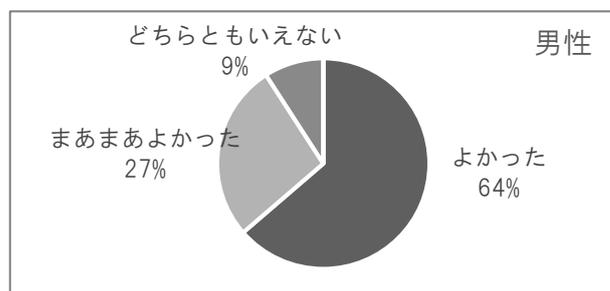
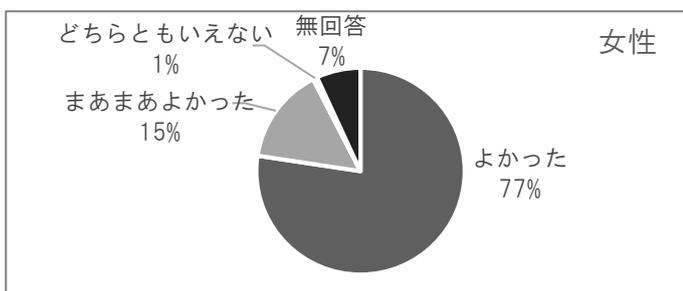
[その他]

- ・前回初めて参加して興味があった
- ・知人に誘われて
- ・毎年参加している
- ・ご近所で誘いあって

3 講演会について

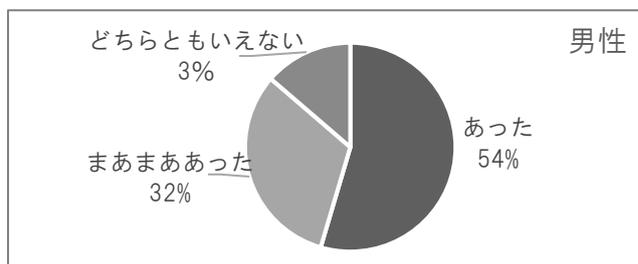
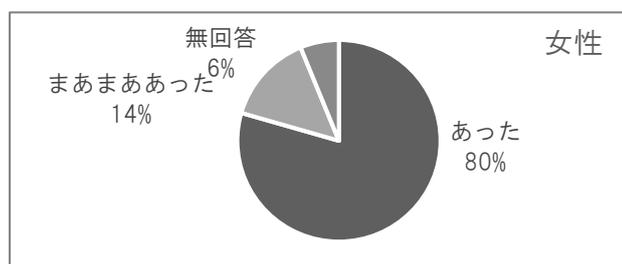
(1) 内容はいかがでしたか？

	女性	男性	無回答	総計
よかった	113	14	1	128
まあまあよかった	22	6	0	28
どちらともいえない	1	2	0	3
無回答	10	0	0	10
総計	146	22	1	169



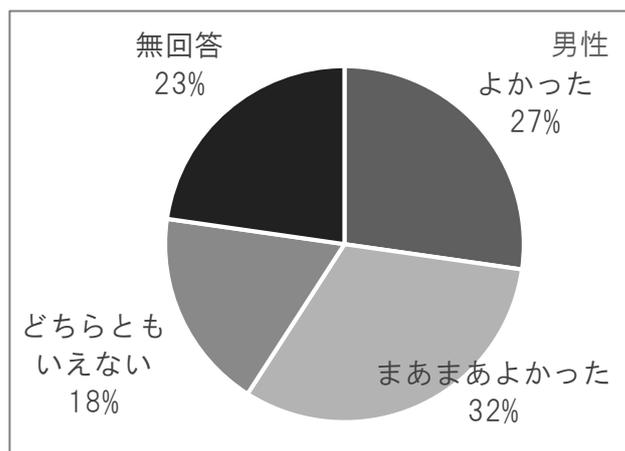
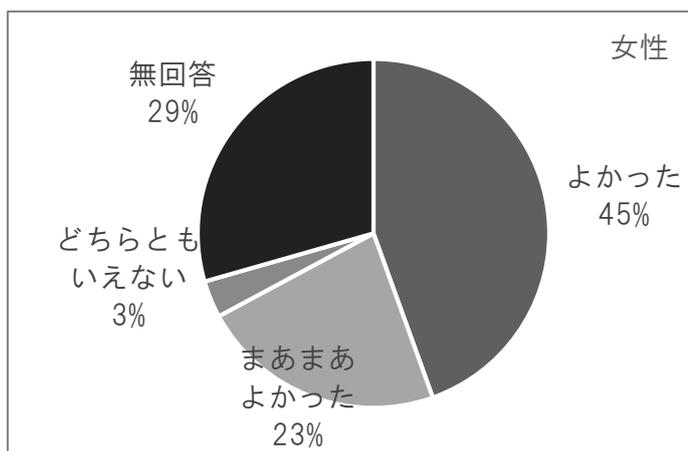
(2) 新しい発見はありましたか？

	女性	男性	無回答	総計
あった	116	12	1	129
まあまああった	21	7	0	28
どちらともいえない	0	3	0	3
あまりなかった	0	0	0	0
無回答	9	0	0	9
総計	146	22	1	169



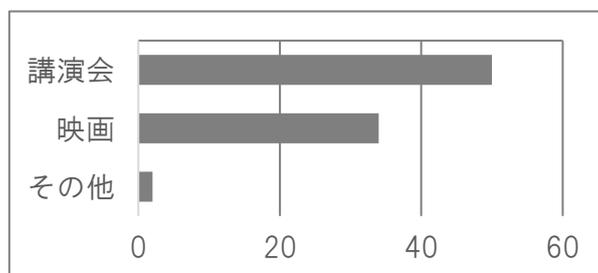
4 今回の「女と男のいきいきフォーラム」はいかがでしたか？

	女性	男性	無回答	総計
よかった	65	6	1	72
まあまあよかった	33	7	0	40
どちらともいえない	5	4	0	9
無回答	43	5	0	48
総計	146	22	1	169



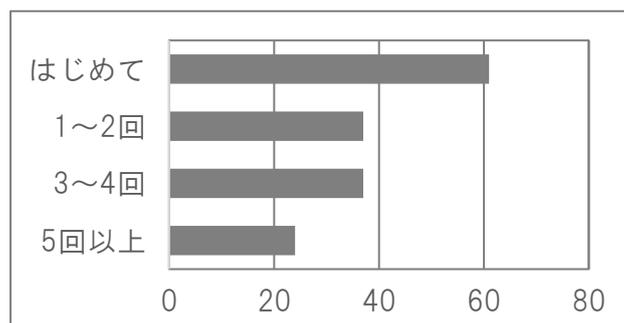
5 今後、「女と男のいきいきフォーラム」についてどのような催しを期待しますか？（複数回答可）

	女性	男性	無回答	総計
講演会	41	9	0	50
映画	32	2	0	34
その他	1	1	0	2
無回答	74	11	1	86
総計	148	23	1	172



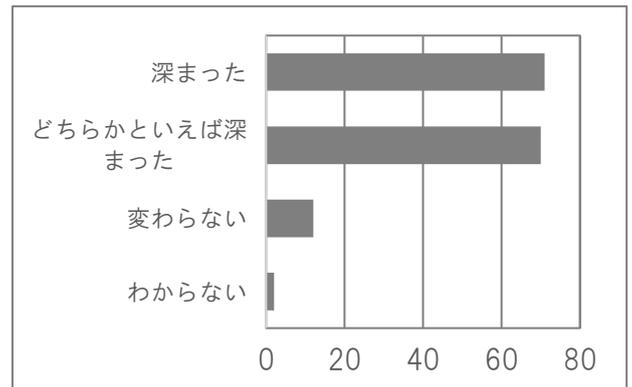
6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

	女性	男性	無回答	総計
はじめて	50	11	0	61
1～2回	35	2	0	37
3～4回	31	5	1	37
5回以上	22	2	0	24
無回答	8	2	0	10
総計	146	22	1	169



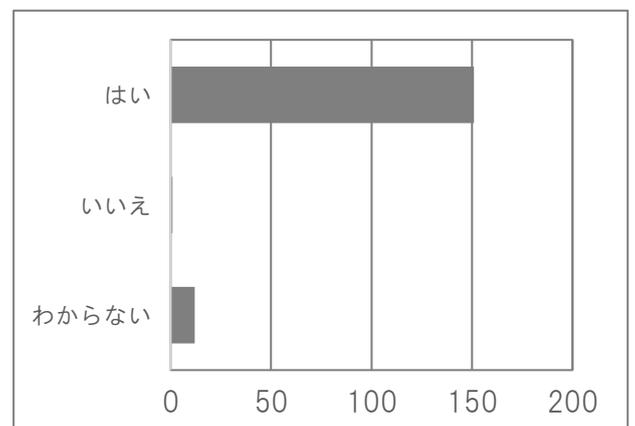
7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

	女性	男性	無回答	総計
深まった	64	7	0	71
どちらかといえば深まった	60	10	0	70
変わらない	9	2	1	12
わからない	1	1	0	2
無回答	12	2	0	14
総計	146	22	1	169



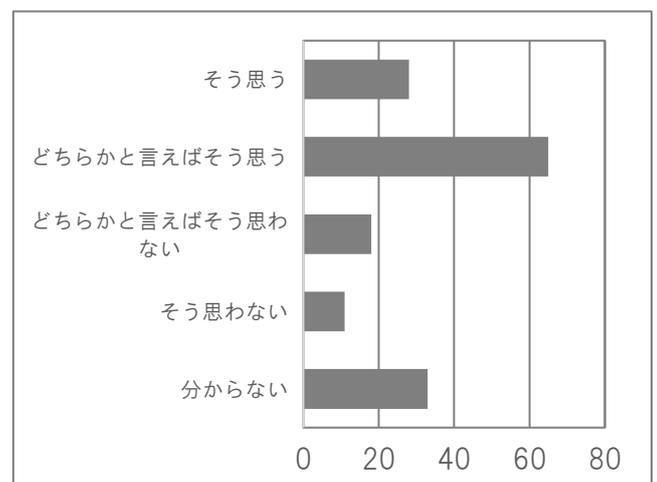
8 今後もこのようなイベントに参加したいと思いますか？

	女性	男性	無回答	総計
はい	134	17	0	151
いいえ	0	1	0	1
わからない	7	4	1	12
無回答	5	0	0	5
総計	146	22	1	169



9 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思いますか？

	女性	男性	無回答	総計
そう思う	24	4	0	28
どちらかと言えばそう思う	57	8	0	65
どちらかと言えばそう思わない	17	1	0	18
そう思わない	8	2	1	11
分からない	28	5	0	33
無回答	12	2	0	14
総計	146	22	1	169



男女意識チェックアンケート?



次の質問の「はい」「いいえ」の当てはまる方に○をつけてください。

「意識したことがない」「考えたことがない」場合は、「いいえ」に○をしてください。

あなたのこと（性別・年代）について、ご記入ください。

性別：（ ）

年代： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90歳以上

①	責任ある立場には男性がついたほうが周りからの信頼を得られると思う。	はい	いいえ
②	恋人同士のデート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい。	はい	いいえ
③	バスやタクシーなどの運転者が女性だと不安を感じる。	はい	いいえ
④	家庭を持っている男性が、スーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思ってしまう。	はい	いいえ
⑤	女性が外出するときは、食事や洗濯など家事をすませてからがよい。	はい	いいえ
⑥	自治会やPTA活動は、実際に参加するのが女性でも、代表は男性がよい。	はい	いいえ
⑦	地域の集まりで、男性がまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをすることは特におかしいことではない。	はい	いいえ
⑧	育児休業や、介護休暇を男性がとることに違和感を覚える。	はい	いいえ
⑨	結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である。	はい	いいえ
⑩	父親が子どもの友だちの名前がわからないのは仕方がない。	はい	いいえ
⑪	「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。	はい	いいえ
⑫	セクハラ、セクハラと目くじらを立てる女性は大人気ない。	はい	いいえ
⑬	女性の上司の下で働くのは働きづらいと思う。	はい	いいえ
⑭	算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている。	はい	いいえ
⑮	手紙の宛先・差出が夫婦連名の場合、夫は姓名、妻は名前だけでよい。	はい	いいえ

※⑮ はい いいえ いいえ いいえ

参考

向
花子
太郎

向
花子
太郎

向	向
花子	太郎

向
太郎
花子



「はい」に○をした数は
いくつでしたか？

個

判定結果

「はい」の数が・・・



A 0～5個だったあなた

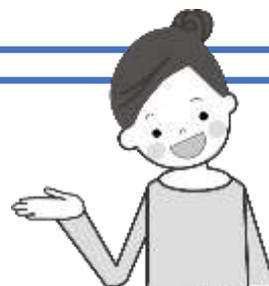
あなたは、「男らしさ」「女らしさ」にこだわらず、「自分らしさ」を尊重して生きていますね。あなたのジェンダーにとらわれない考え方を、周囲の人にも波及させて、快適な生活の場を広げていきましょう。21世紀はあなたの時代です。

B 6～10個だったあなた

あなたは「男だから」「女だから」にこだわるのはおかしいと気づき始めているようです。男女平等なんて常識と思いつつ、周囲の目を気にしすぎて、意識と行動の矛盾に悩んでいるかもしれません。性別に対するこだわりを思い切って取り除き、一番身近なところから意識と行動を見直していきましょう。

C 11～15個だったあなた

あなたは、男の役割、女の役割にこだわっていませんか？
どちらも同じように参加できる地域の方が、きっと暮らしやすいはずですよ。
ほんの少し、生活を見直してみましょう。



このアンケートは、令和元年11月16日

・17日の向日市まつりで、来場された皆さんに
答えていただきました。

ご協力ありがとうございました。

男女意識チェックアンケート まとめ

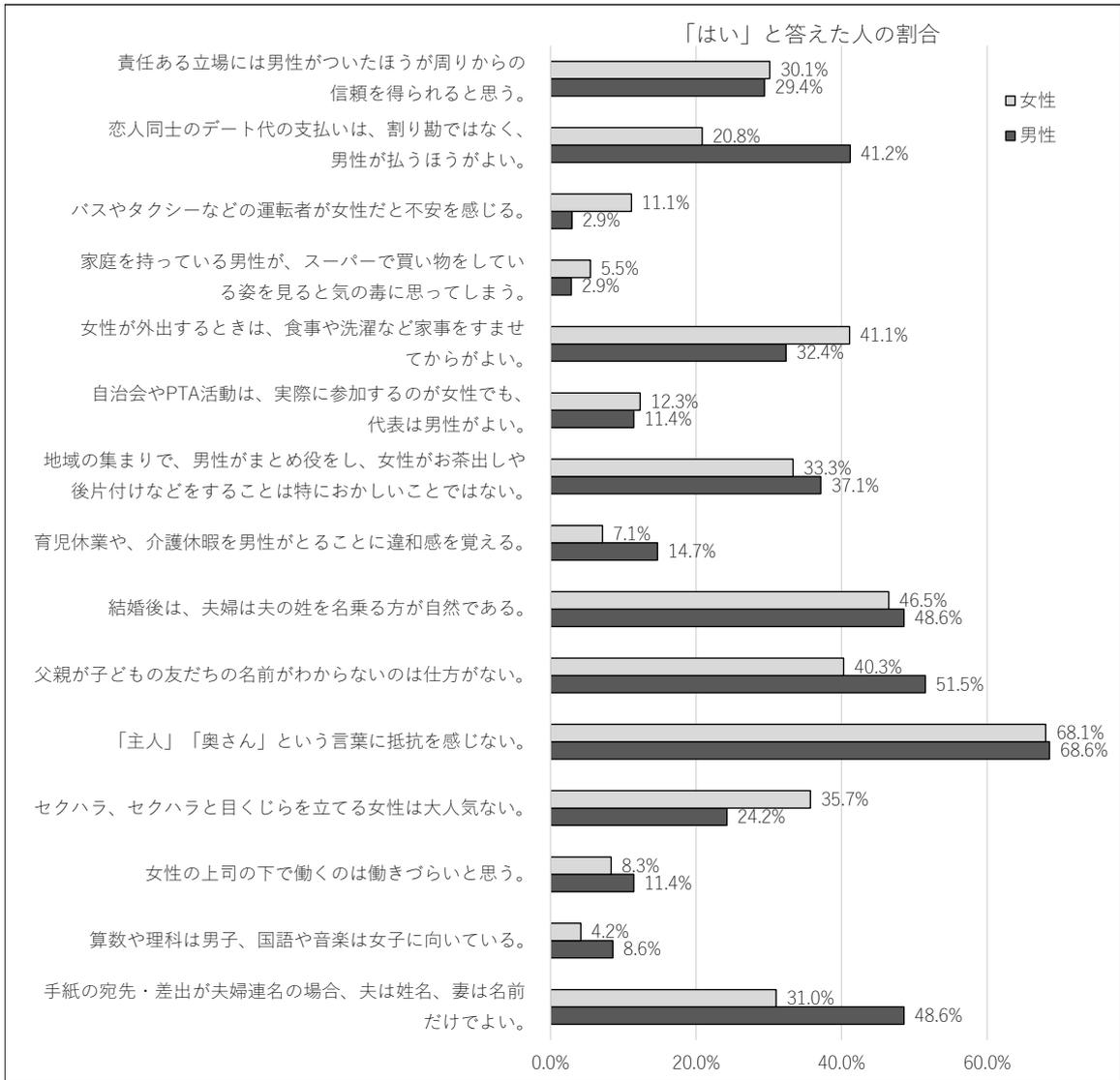
実施日：令和元年11月16日17日 実施：いきいきフォーラム実行委員会

実施会場：向日市まつり2019（相談展示コーナー）

【回答者の年齢別・性別内訳人数】

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答	計
女性	10		9	8	2	14	28	2		73
男性	4	2	3	6	5	4	6	5		35
無回答				2			4	1	2	9
計	14	2	12	16	7	18	38	8	2	117

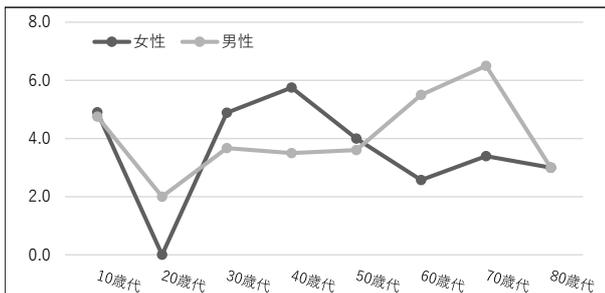
【質問別「はい」と答えた人の男女別割合】



【「はい」の数の年代別平均値】

※15設問中、一人あたりが「はい」と答えた平均個数

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
女性	4.9	0	4.9	5.8	4.0	2.6	3.4	3.0
男性	4.8	2.0	3.7	3.5	3.6	5.5	6.5	3.0



男女意識チェックアンケート まとめ結果について

- 女性の場合、もっとも「はい」の割合が高かったのは、「⑪ 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない」(68%)であり、そして「⑨ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である」(47%)、続いて「⑤ 女性が外出するときは、食事や洗濯など家事をすませてからがよい」(41%)となった。
昨年度は、「はい」の割合が高かったものから順に⑪(69%)、⑨(45%)、⑤⑦(どちらも44%)という結果だった。
- 一方、男性がもっとも多く「はい」と答えたのは、「⑪ 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない」(69%)であり、そして「⑩ 父親が子どもの友だちの名前がわからないのは仕方がない」(52%)、続いて「⑨ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である」(49%)が多かった。
昨年度は、「はい」の割合が高かったものから順に⑪(65%)、②(48%)⑨(43%)という結果だった。
- もっとも「はい」の割合が低かったのは、「④ 家庭を持っている男性が、スーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思ってしまう」(女性6%、男性3%)で、そのあとに「⑭ 算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている」(女性9%、男性4%)が続いた。
昨年度は「はい」の割合が低かったものから順に④(女性3%、男性0%)、⑭(女性8%、男性4%)という結果だった。
- 男性と女性の「はい」と答えた割合の差がもっとも大きかったのは、「② 恋人同士のデート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい」であり、その次に多かったのは「⑮ 手紙の宛先・差出が夫婦連名の場合、夫は姓名、妻は名前だけでよい」であった。②⑮ともに男性が多かった。
昨年度は、男性と女性の「はい」と答えた割合の差が大きかったものから順に②、⑤という結果で、②は男性の方が多く、⑤は女性が多かった。

一人あたりが「はい」と答えた平均回数は年代によって差がありましたが女性は40代がほかの年代より高く、男性は40代以降で「はい」と答えた平均回数が増加しました。50代を境に「はい」と答えた平均回数が男女で逆転し、年代・性別に拘らず今後も真の男女共同参画社会実現に向けて地道な啓発が必要であると感じました。

男女意識チェックアンケートを通して、いろいろな意見を聞くことができ、意識啓発の良い機会となりました。これからも、女と男のいきいきフォーラム実行委員会と向日市は、「男らしさ」「女らしさ」にこだわらず、一人一人が個人として尊重される社会をめざして活動を続けます。

男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第2条より)



男女共同参画に係る

キーワード

LGBT

Lesbian (レズビアン) …女性同性愛者

Gay (ゲイ) …男性同性愛者

Bisexual (バイセクシュアル) …両性愛者

Transgender (トランスジェンダー) …生まれたときに法律的・社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人(性同一性障がいを含む)

以上の頭文字をとった総称をいいます。

日本では、「性的少数派」や「性的マイノリティ」も同様の意味で用いられることがあります。

SOGI

Sexual Orientation (セクシュアル・オリエンテーション) …性的指向

人の恋愛・性愛がいずれの性別を対象とするかを表すものであり、具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。

Gender Identity (ジェンダー・アイデンティティ) …性自認

自分の性をどのように認識しているかということです。女性、男性、トランスジェンダーと認識している人やどれにも当てはまらないと認識している人もいます。

以上の頭文字をとった総称をいいます。

日本では、性的指向や性自認にかかわらず多様な性を尊重しようという考え方で用いられることがあります。

エンパワーメント

自らの意識と能力を高め、家庭や地域、職場などあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的、文化的に力をつけること、及びそうした力を持った主体的な存在となり、力を発揮し、行動していくことをいいます。



固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。



ジェンダー

「社会的・文化的に形成された性別」のことです。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性・女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）といいます。



積極的改善措置（ポジティブ・アクション）

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

積極的改善措置の例としては、国の審議会等委員への女性の登用のための目標の設定や、女性国家公務員の採用・登用の促進等が実施されています。



ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力のことで、その多くは男性から女性に振るわれています。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的暴力、経済的暴力なども、DVに含まれます。



パープルリボン運動

1994年にアメリカで始まった女性に対する暴力根絶の運動です。DVや虐待など、個人間にある暴力をなくすことや、暴力の被害にあっている人たちの安全を守り、勇気を与えること、また暴力の問題に関心を持ってもらうことを目的に、一人一人が参加、行動できる運動です。



リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス／ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。



ワーク・ライフ・バランス

充実した人生を送るため、自分の価値観に合う働き方、仕事と生活の調和を考えようという概念。あるいは、仕事と私生活とが調和、両立している状態をさします。

～実行委員の思い～1年間を振り返って～



例年ながら実行委員会に参加し、一年を振り返るにあたってこれでいいのか？と自問自答のまよいがあります。

世界経済フォーラム、男女格差報告書では2006年で日本は115カ国中80位、でしたが、2019年では153カ国中121位と過去最低で、他国に次々と追い越されている現実です。

これを「仕方がない」とあきらめるのか？何としても2020年は実績を伴う脱出を目指したい。

この一年間、実行委員会では各人・分野の意見交流、学習会を重ね、12月のフォーラムに取り組みました。住田裕子さんの講演では、まだまだ“男は仕事・女は家事・育児”と、伝統的な女性に対する偏見が根強くあるという問題提起があり考えさせられました。

人生100年時代老後が長い。家事・育児が女性に頼りすぎると男性は退職後の家庭生活がうまくいかなかったり、パートナーに先立たれた時、生活が荒れるなどの新たな課題が出てきています。家事の自立は男性を幸せにする「共家事」が男女ともにいきいき生きられるのでは？また、この間、女性陶芸家の神山清子さんの講演、映画“一粒の麦”日本初の女性医師第一号、荻野吟子さん等を見聞き、いずれもその時代の女性に対する蔑視、迫害に耐え、忍耐強く、それぞれの道を切り開いた姿に、再度原点に返った取り組みが必要かな？と思うこの頃です。





私の友人・知人たちに聞いてみても、ジェンダーとは何かがよくわからないという方が多いです。しかし日々の生活の中で、これは「男」が、これは「女」がすべきことと、なんとなくではあっても、そうあるべきと思い込んでいることが多数あることに気づきます。

その気づきをさせてもらえるのが、このいきいきフォーラム実行委員会です。12月のフォーラム準備だけではなく、毎月の会議の中で身近なジェンダーについて語りあい、学習しています。

この数年は、言葉だけでは難しそうという方に向けて、「自分らしく生きること」をテーマにした講演を続けています。

ぜひ多くの方とご一緒にこの実行委員会を、そしてフォーラムを盛り上げていきたいです。



この1年間、実行委員の活動として、フォーラムなどのイベントの企画・運営をすることで確かな手応えを感じました。

令和元年度の「女と男のいきいきフォーラム」は講師に住田裕子さんをお迎えし「女男の生き方を考える～あしたの自律のために～」をテーマに講演をしていただきました。

お話では、女性のエンパワーメントについて体系的な理論と実際を聴くことができ、今後の活動の指針として有意義に思っております。

住田裕子さんのご経歴を拝見し、幅広いご研鑽の成果が全て今日も活かされ、多くの市民に影響を与えていることに感銘を受け尊敬し、吸い込まれる思いで拝聴させていただきました。

当日は、会場内に同時開催としてパープルリボン展や人権パネル展を実施したことで、市民啓発にも貢献することができました。

政府の重要施策一つである「一億総活躍社会の実現」や「女性活躍推進法の完全実施」が呼ばれてからかなり経ちました。一方「現状維持は後退の始まり」という言葉があります。私たちは常に心して「女と男（ひと）」の活躍の場を拓げる好循環を追求に行きたいと考えております。現実には厳しいものがありますが、粘り強い活動が望まれます。



令和元年度 ^{ひと}女と男のいきいきフォーラム実行委員会 ^{ひと}年間の流れ

日程（原則第3水曜日）		内容
第1回	4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 男女共同参画施策について ・ 実行委員会代表選出、委員会日程について ・ フォーラムの企画について
第2回	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム内容、講師候補検討、テーマについて
第3回	6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師について ・ 学習会について
第4回	7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマについて ・ 講演内容について
第5回	9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定事項の確認と検討事項について ・ 向日市まつりでのいきいきフォーラムコーナーについて
第6回	10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ・ポスターなど（案）の確認 ・ フォーラム当日の役割分担について ・ パープルリボン啓発について ・ 向日市まつりでのいきいきフォーラムコーナーについて
	11月16日 11月17日	<p>☆向日市まつり（いきいきフォーラムコーナー）</p> <p>アンケートの実施、フォーラムの周知、整理券配布 パープルリボン啓発など</p>
第7回	11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム当日の詳細な流れについて ・ 向日市まつりでの活動結果について
第8回	12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム当日の進行について ・ 向日市まつりでの活動結果について
	12月7日	<p>☆女と男のいきいきフォーラム</p>
第9回	1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習会 講演会：ハラスメントのない職場づくり 講師：女性労働協会女性就業支援専門員 ・ フォーラム総括、記録集の作成について ・ フォーラムのアンケート集計結果について
第10回	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム記録集の内容について ・ 向日市まつりでのアンケート集計結果について
第11回	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム記録集の内容について ・ 次年度実行委員募集について <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました</p>

ひと ひと
女と男のいきいきフォーラム実行委員会



川阪 宏子
 多田 久美子
 田中 昭典
 仲島 久美
 松田 フジ
 松本 須美子
 吉田 百合子
 (50音順)



主催

^{ひと} ^{ひと}
女と男のいきいきフォーラム実行委員会・向日市

編集/^{ひと} ^{ひと}
女と男のいきいきフォーラム実行委員会

発行/向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

〒617-8665

京都府向日市寺戸町中野20番地

TEL (075) 931-1111

FAX (075) 922-6587